

立命館大学文学部卒業論文題目

時間と自由 永井 彩子

——純粹持続と記憶力の統合を目指したベルクソン——

ヘシオドスにおけるギリシア哲学 長瀬 治子

優生思想と向き合う 樋口 夏生

——なぜ優生思想は悪なのか——

J・S・ミル『自由論』について 福田 勇

——自由原理と功利原理——

自殺を読む 藤井 健太

——哲学者は自殺をどのように捉えたか——

ニーチェ『悲劇の誕生』についての考察

藤原 慎介

自我の構成 細川 智子

——フッサールの現象学より——

ヒトと人格の区分 堀 さなえ

レヴィナスの孤独論について 松田 慶一

初期アドルノのフッサール批判に抗して

——マッハを手がかりとして—— 丸山美佐子

生命倫理と現代社会 三浦 香織

現代民主主義についての考察 箕田 信介

——ルソーの社会契約論から観る——

ソクラテスの哲学 宮崎 智

——魂の概念について——

ミシェル・フーコーと「主体」の系譜 宮崎 稔

——権力分析と真理のゲームをとおして——

言語と慣習について 森池 大地

——オースティンの議論を中心に——

J・S・ミル『自由論』から見る報道 森山 昭次

哲学科 哲学専攻

レヴィナスにおける時間と実詞化の考察

——『実存か実存者へ』をめぐって—— 西村 俊治

キルケゴールの実存主義思想 村上 仁彦

音楽とメディアについて 前田洋一郎

『論理学研究2』における直観概念について 飯島元太郎

身体をもつこと 石川 愛

——微小なものの知覚と他なるものの発見について——

道徳的に生きるということ 伊藤さやか

——カントの道徳の基礎づけとその批判をもとに——

モナドロジーと個体問題 内田 純恵

ヒュームの宗教論に基づく宗教本来の在り方 梅原 淳

教育哲学の問題 岡本 直人

科学と宗教の関係についての考察 奥田 直樹

ルソーの教育論 小栗 寛丈

——自然・消極教育について——

古代ギリシア時代の自然根拠の変化 加地 義治

——ミレトス学派からの考察——

自己形成としての道徳 金沢 泰洋

——モデルへの自己形成論として読むカント実践哲学——

安楽死の考察 喜連川慎司

——日本は積極的安楽死を認めるべきか——

幸福について 栗原 尚志

カント実践哲学の考察 黒川 恵太

中絶のあるべき姿 小西真理子

——ケアの倫理がもたらしたものの——

ハイデガー「存在と時間」 時間による存在解釈

近藤 毅昌

実存主義における自由についての考察 斎藤 周平

分析哲学と現象学から考察する時間論 佐藤 太一

現代日本における脳死の扱い 佐藤 実優

——臓器移植との関係——

身体について 鈴木 里美

エマニュル・レヴィナスの思想 高橋 有希

——生きる意味と倫理——

親密圏の再構築 福田 聡子

——ジュディス・バトラーを手がかりに——

生政治について 田中 秀憲

デカルト的方法的懐疑 田邊 学

——その限界について——

芸術について

宮崎 法

「有機体の哲学」における直接経験について

内なる2つの眼

大原 卓也

戦争倫理

武藤 紗生

「想起をめぐって」

光岡 義勝

主観的・客観的視点が開く、よりよい生き方

小國美紗子

戦争の正当化可能性についての倫理的議論

中島 悠介

想起をめぐって

藤井 基

親子間における愛情の育みのひとつとして

加瀬野知子

カントにおける知覚と経験について

田中 夏子

心の哲学

中川 元寿

共有体としての夫婦

北山亜矢巳

速度と抵抗する身体

秋野 悠介

理性期信仰とは何か

渡部 千洋

恐れなき結婚のために

熊谷さやか

サルトルの自由と社会参加の理念

室賀 尊文

アンセルムスの宗教哲学

海老原智彦

自らを育む医療の現状とその可能性

倉西 芳典

西田哲学の根柢

伊勢 一行

哲学的 教育人間学専攻

吾妻 朋恵

人間存在論

熊谷さやか

歴史的現実における自覚とは

伊勢 一行

哲学科 教育人間学専攻

粟飯原理絵

息子にとって父親とは何か

小林 晶子

ヘーゲル労働概念の発展

伊奈 昌宏

人間の含みのコミュニケーション

今田千穂子

日本人の宗教感性はいかに育まれるか

黒岩 大智

アートと芸術、そのはたらきと差異

岩井 秀哲

孤独についての一考察

栗飯原理絵

思春期におけるグループと個の成長

小林 晶子

意志のありか

岩井 秀哲

人間の含みのコミュニケーション

今田千穂子

教師・顧問コーチと学外コーチの協働を通して

阪本 浩太

ソクラテス・カント・ヘーゲルの哲学をめぐる

齋藤 和弘

言葉の含みのコミュニケーション

今田千穂子

教師・顧問コーチと学外コーチの協働を通して

阪本 浩太

西田幾多郎の絶対無の自己限定についての批判的

齋藤 和弘

言葉の含みのコミュニケーション

今田千穂子

教師・顧問コーチと学外コーチの協働を通して

阪本 浩太

考察

齋藤 和弘

言葉の含みのコミュニケーション

今田千穂子

教師・顧問コーチと学外コーチの協働を通して

阪本 浩太

構造分析について

桜井 祥介

曖昧性・包容性の視点から

今村由美子

解釈とその対象についての考察から

小山 香織

ヒュームと懐疑論

富塚 耕平

福沢諭吉を読む

岩田 光史

言葉の含みのコミュニケーション

今田千穂子

帰納法の正当化について

中辻 宏規

語りの人間学

岩田 光史

心と体を癒すヨーガ

岩本 みよ

『第二の性』とサルトル哲学

波多野沙織

E・レヴィナスから学びつつ

上沼 明子

言葉の役割

宇田川春菜

身体運動の高度化に向けた試論

町田 圭太

言葉が自己に及ぼす影響について

正親 一道

メルロ・ポンティ「身体図式論」からの展開

谷田部 翔

言葉が自己に及ぼす影響について

正親 一道

他者を知るという事

鈴木 博信

言葉が自己に及ぼす影響について

正親 一道

スピノザ『エチカ』における能動化について

鈴木 博信

言葉が自己に及ぼす影響について

正親 一道

アドルノとベンヤミン

田中 宏明

言葉が自己に及ぼす影響について

正親 一道

スピノザの自由について

辻 まさき

言葉が自己に及ぼす影響について

正親 一道

「私死」と生についての考察

鈴木 博信

言葉が自己に及ぼす影響について

正親 一道

ヒューマンエラーを減らすために

妹尾 剛

言葉が自己に及ぼす影響について

正親 一道

福知山線尼崎脱線事故から学ぶ社内教育

高橋 和也

言葉が自己に及ぼす影響について

正親 一道

プラトンの教育論

高橋 和也

言葉が自己に及ぼす影響について

正親 一道

私たちはなぜ恐怖に惹かれるのか 高橋ゆかり

——異界と境界を人間学的な視点から考える——

自閉症幼児における『遊び』を通したコミュニケーション

——シヨン行動の発達—— 高森 美紗

シユタイナー教育における「教育芸術」について

田中 優子

アジアへの想い

——経験から描く「国際理解」像とその可能性—— 田中 亨奈

子どもの力を伸ばす指導と援助

——小学校におけるコーチングの可能性と課題—— 谷口 聖弥

ジェンダーからみたジュニア向け小説

ひきこもる青年たち 辻本 由佳 寺地 優美

——成長過程と支援を考える——

新たな「生きる意味」への探究 中島 健太

——未知としての人間存在——

日本の教育、デンマークの教育 永井奈穂子

——グランドヴィーの思想を基に——

教育における直観の重要性 成松のぞみ

——宮沢賢治の教師生活を通して——

互酬性の期待を超えた人間関係を考察する 西尾 友里

『アルケミスト——夢を旅した少年——』にみる 古川あすか

スピリチュアリティの変容 古川 絵美

色の好みとその内面的意味 古川 絵美

——心の成長を告げるもの——

学校教育における連携のあり方 三浦 陽平

——子どもの問題にどう対応するか——

幼児期と体育 水原 尚美

——身体活動経験が成長に与える影響——

一つの価値観に縛られない生き方 三原田晴子

——より豊かで拡がりをもった人生を求めて——

別室登校の生徒への支援 村上 郁代

——京都市立中学校での学生ボランティアを通して——

ネル・ネディングズのケアリング論 安井 久人

——学校教育におけるケアリングの可能性と課題——

魂の健康に関する考察 山川 拓郎

——プラトンの『国家』をめぐって——

なぜ日本人はブランドに魅かれるのか 山口まるみ

——文化と心理から考察する——

マイナスの存在をプラスに変える生き方 山本 洋行

——アルフレッド・アドラーを超えて——

長期実践型インターンシップの教育的効果と可能性 松浦 俊介

——「見た目」依存の風潮と生きづらさ——

「見た目」依存の風潮と生きづらさ 佐竹 彩子

——暮らしやすい社会とは——

子どもに対する性的犯罪 福井 英恵

——東京・埼玉幼女連続誘拐殺人事件を通しての考察——

20代・30代女性の幸福 藤井 博子

——多様化と画一化——

乳がん患者の「死」と「生」について 北村 麻美

——生を再構成する過程とその援助の在り方——

青年期女子の女性性受容 古川真由美

——自己と母親への身体イメージを手がかりに——

UBA教育の問題点とそこで本当に学ぶべきもの

——そして社会起業家の必要性—— 宮内 義一

あの時、僕は 吉村 秀平

——青年期についての一考察——

母と娘の関係 今井紀美代

——母への「依存・独立の葛藤」との関連から——

死と癒し——自己体験からの考察—— 席野 公美

——心理学的アプローチによる「道徳の時間」の可能性——

ルソーの良心論 中尾シゲ美

——「生きる権利」・「死ぬ権利」についての一考察——

遊びについて 安田亜紀子

——スロット・パチンコを題材として——

遊戯について 油谷 翔

——変容——

ネット社会における「匿名性」と「帰属意識」の 小野田絵梨

条件付きでないと愛されないと思っている子ども 角田 有里

——変容——

現代社会における依存問題について 田中 健一

——社会が生み出す不安と依存との関連性の観点から——

西洋音楽における「古楽」解釈の考察 由良哲一郎

——早期教育の批判的考察——

早期教育の批判的考察 張 瑩

クリシナムルティに学ぶ学校教育 中川えりか

——自己と母親への身体イメージを手がかりに——

文学科 日本文学専攻

京都・大阪文化比較論 朝熊 望

遊郭を中心にして

吉原幸子『幼年連禱』論 安藤 美冬

「純粹」の希求

那覇における親族名称の研究 伊佐 葉月

大分県国東半島に伝わるケベス祭りの背景 稲次 優生

滋賀県高島市マキノ町牧野地区における斎頼塚 乾 理栄

物臭太郎考 井上 律子

伝説の生成背景

平澤計七「赤毛の子」論 今市英利香

徳島県勝浦に伝わる義経伝説の道 今西 敦子

「血祭り」の原風景 入江 初佳

江戸川乱歩「屋根裏の散歩者」論 内田 侑里

平林たい子「透明人間」論 江渡 華子

伊原西鶴と俳諧 太田 圭輔

「好色一代男」における俳諧的特徴

室生犀屋『性に眼覚める頃』論 大塚 ふみ

枕草子と歴史認識 大坪 舞

「平家物語」巻第九「忠教最期」の精神風景 大野 桂子

腕切譚をめぐる

大阪府交野方言の変遷について 大橋 洋子

『南総里見八犬伝』挿絵考

読本から合巻への再構築

『ほら男爵 現代の冒険』に見る星新一のユーモア

大村 円香

王子猷 説話考

備中荒神神楽の風景

大山 有香

『源氏物語』の茶

小川 智照

浦島伝説を巡る考察

萩田みどり

「森」の存在

小倉 信治

源氏物語人物攷

小澤 康基

紫の上を中心に

加藤美沙子

判じ絵とことば遊びの文化

亀井 博美

紫の上 源氏物語人物考

川口真有美

源氏物語における食について

川崎 敏博

北原武夫論

鬼頭 郷子

国木田独歩「酒中日記」

木下美由紀

今歳の行動や心理変化に着目して

京都府山科区四宮河原における盲人伝承の変容

久保村 恵

『光吉集』の歌風

小谷口恵子

歌舞伎の文化とときもの

児玉喜美香

眞杉静枝の世界 嶋津 麗子

「小魚の心」を通して

松本清張『黒革の手帖』論 島村 希里

柳瀬正夢論 白井かおり

「市電争議のゴー・ストップ」を中心にして

広島方言の魅力 菅野 美紀

海神丸における船長の役割 菅原 聖子

太宰治「女生徒」論 杉原 梨沙

室生犀屋『幼年時代』にみる自我形成 高橋 水緒

「孤独と向き合う本当の心」

三島由紀夫『仮面の告白』 田上 晃平

告白する「私」をめぐる

「日本の伝統芸能を支える手引き書」 竹内 久代

「それぞれの手引き書が示す芸論の普遍性を探る」

山田詠美「姫君」論 竹ヶ原和恵

小川未明「赤い蠟燭と人魚」 武林亜矢子

「人魚の娘と育ての親を中心に」

野上彌生子『明暗』論 田中香菜恵

宮澤賢治『土神と狐』の研究 谷口 優美

『奥の細道』の表現研究 千葉真友子

芭蕉の旅実況

万葉集表現考 土屋 良子

「色に出づ」と植物

源氏物語の女性 寺口真梨子

六条御息所を中心に

小ツ未明『砂糖より甘い煙草』論 中田 瞳

夏目漱石『行人』論 東海林宗一郎

古事記における武器 塩見 孝之

梅崎春生『桜島』論 笹岡絵理子

- 野田秀樹論 名嘉眞綾子
- 『キル』『Right Eye』『パンドラの鐘』の戯曲三  
—— 作品を視点として——
- 有栖川有栖論 中村 愛弓
- 老の坂の伝承背景 南部 佳紀
- 酒呑童子説話の受容をめぐって——
- 滋賀県木之本町に伝わる鎌倉からの落人伝説の生 西岡 正人
- 成基盤 西岡 正人
- 和歌山県白浜町牛屋谷に伝わる雨乞いの奇習 西川 愛実
- 富士正晴「帝国軍隊に於ける学習・序」における 榊津 幸一
- 教育と組織について 野村 裕子
- 林芙美子『浮雲』論 野村 裕子
- 一人生き残った富岡の弱さ——
- 坂口安吾『桜の森の満開の下』 則定可奈子
- 男と女、桜の森をめぐって——
- 『希望の国のエクソダス』論 服部 晃和
- 作中にみる村上龍の教育観——
- 水上勉『五番町夕霧楼』論 林下ちあき
- 「小旗」—— 赤い小旗が映す父の宿命—— 平山 彩子
- 平安京における宴の松原の研究 藤木麻衣子
- 芥川龍之介「偷盗」論 藤原莉奈子
- 京都府亀岡市の頼政塚 前田 真吾
- その生成背景と精神風土——
- 鹿児島県におけるタノカンサー信仰の精神風土 前田 隆仁
- 田の神舞型をめぐって——
- 夢野久作「ドグラ・マグラ」論 松尾真由子
- 貴人來訪伝承 松岡 祥子
- 愛知県足助町に伝わる「二条良基伝承をめぐって」——
- 岡本かの子「家霊」にみるいのちの呼応 松本 明枝
- 「鮎」を合わせ鏡として——
- 宮澤賢治「よだかの星」論 丸山 詩織
- よだかの飛翔にみる賢治の生命観——
- 『後三年合戦絵詞』考 三石 弘明
- 弓箭描写を端緒として——
- 万葉集における髪 宮本 裕美
- 主に黒髪について——
- 俵万智短歌の表現特徴 三好 早紀
- 語彙分析の視点から——
- 寺山修司シナリオ 『田園に死す』におけるサー 村上 陽子
- カス団の役割 村 陽子
- もっとサーカスを！——
- 『城塞』に見る司馬遼太郎の生死観 森實 亮
- 李良枝「由熙」論 森谷有美子
- 有島武郎論 山本 倫子
- 「惜みなく愛は奪ふ」を中心に——
- 野坂昭如『火垂るの墓』論 山本裕美子
- 戦争孤児の生——
- 丹波国造り伝承とその原風景 湯浅 佑介
- 亀岡市保津に宿る神々とその信仰を巡って——
- 野上弥生子『海神丸』論 渡邊はるか
- 浮世絵の表現技法の一考 金 鳳 任
- 七小町を中心に——
- 『万葉集』柿本人麻呂 平井 久美
- 石見相聞歌における「和多豆」考——
- 草津の姥ヶ餅と鳥羽のおせき餅 福永 未来
- 境の神を祀る巫女——
- 「人間失格」に見る太宰治 石原 明子
- 生と死について——
- 金城一紀『GO』について 河野 純一
- 小説と映画での違い——
- 新美南吉『ごん狐論』 佐藤 萌
- ごんの死の意味の考察——
- 民主主義文学運動と徳永直 和田 崇
- 「勤労者文学」推進者の姿——
- 美人画における遊女 大島 里花
- 川端康成「伊豆の踊子」における主題考察 志萱 浩朗
- 三島由紀夫『春の雪』の純愛 寒川 周子
- 綾倉聡子からの視点——
- 相田みつを『にんげんだもの』の考察 内藤友美子
- 『藪の中』における女性観 長谷川香織
- 百鬼夜行の行き交う町 福永 茜
- あははの辻をめぐって——
- 中島敦『山月記』論 宮垣 真維
- 芥川龍之介『芋粥』論 矢形 恵理
- 五位の心理変化について——
- 江國香織『すきまのおともだちたち』 西田 仁美
- 「すきま」の世界について——
- オタク的文化によって生成される文学考察 伊藤 雅人
- 若山牧水『海の声』論 川瀬 春奈
- 恋と自然へのあこがれ——

葉山嘉樹『海に生くる人々』論 朝見 五子  
若山牧水『みなかみ』にみる破調歌 奥田 松平

——啄木を視座として——

角田光代『対岸の彼女』 立場の違う女性の友情

が成り立つということが、具体的にどう描かれて

いるか 小澤 容子

大阪府枚方市に伝わる苧屋姫伝承の生成背景

芝 かおり

全国放言における尊敬語の研究 橋場まゆみ

『風葉和歌集』考 藤田 さほ

——「女院」の詠歌を通して——

和歌山県岩出町に伝わる住持池の伝説とその風景

—— 女人入水伝承の系譜をめぐって—— 喜多 晃嗣

吉本ばなな『ハネムーン』 澤田奈々江

—— 竹垣の向こう側——

山崎彬『注目』論 中栄 遊子

岡本かの子「金魚撥乱」の金魚の意味をさぐる

平井健二郎

宮本輝『青が散る』論 松本 健吾

—— 喪失感の希求——

遠藤周作「青い小さな葡萄」論 村山 遊

20世紀少年 柳井麻友子

—— アナクロニズムの支配との対決——

芥川龍之介『玄鶴山房』論 山崎健太郎

書を捨てよ町へ出よう 秋吉 大輔

芹沢光治良『橋の手前』 作家の立つ位置 なぜ

『橋の手前』なかの 喜名景一朗

近松心中物語について 小寫真由子

金原ひとみ『オートフィクション』 岡田貴代美

—— 感覚優位文学の成立——

近世の演劇に於ける「狂乱」

源氏雲浮世画合 江藤 渚

日本語の現代的敬語表現におけるポライトネスと

モダリティ 中本 多恵

文学科 中国文学専攻

鲁迅或いは鲁迅の作品に於ける女性像及び戀愛又

はエロス 畑 文尊

王粲の「七哀詩」と「從軍詩」

共工と古代羌族 浅井 公輝

隋の煬帝と唐の太宗 浅野 沙代

『千文字』にみる原文と続編の比較 井内 菜美

—— 成立背景と文学的特徴を中心に—— 入山 明菜

ファッションに見る現代中国女性の美意識

岡崎 綾子

惠果という人 岡崎 萌

孔子の思想における「仁」の特徴 小畑 亮

—— 「論語」を中心に——

中国文化大革命発端の理由 木村 理恵

李徴・その性格の変遷 熊谷まゆみ

『入虎伝』から『山月記』へ 高坂 桃子

中国におけるひょうたん 小森 孟

王道と霸道

—— 「孟子」を中心として——

関羽が神になった理由 曾和 幸子

曹操と詩 田口 耕平

儒教の宗教性—— 孝・礼を中心に—— 田代 麻美

折楊柳についての考察 大長千恵美

中国における蝙蝠のイメージ 中嶋 篤実

中国野球の発展 中山 祐輔

老舎の結婚観 西原 雅子

荀子・孟子の教育論 西村 裕太

—— 人間観を中心として——

中国の法哲学 林 亮介

詩から考察する薛濤像 藤木亜也子

古代中国人の死生観 真木 裕一

—— 崑崙山を中心に——

中国人の面子観 松永 有二

黄河治水の観点から見た中国神話の構造

—— 禹を中心に—— 加藤 誠二

鲁迅と藤野先生の関係 佐藤 暢裕

鲁迅が先生を評価する理由 平澤 華耶

蘇東坡と荔枝 華僑が与えた東南アジア社会に対する影響

村田 祥平

「曹操孟」と「李光耀」 野村 祥子

独裁者のリーダーシップ

中国古代理論における夢の比較 河地 良典

狐のイメージ 畑 友人

—— 志怪・伝奇小説における変化——

文学科 英米文学専攻

W. Somerset Maugham's *The Moon and Sixpence*:  
Wander and Wandering of a Soul

Kana Fukamizu

Jane Austen 研究 *Pride and Prejudice*

——Elizabethの結婚観を中心に—— 公庄 可奈

*Pride and Prejudice* 研究

三組の結婚について

*David Copperfield* 研究

——なぜSteerforthのもう魔力に魅かれるのか——

Edgar Allan Poe 研究

——Poeの詩の世界は如何にして作られたのか——

*A Christmas Carol* 研究

——ディケンズが伝えたい大人への教訓、子どもへの

教育——

Lewis Carroll's *Alice's Adventures in Wonderland*:

What is the Secret message from Carroll

towards readers in the Victorian era?

石原 真里

メタファー表現の基盤

Shakespeareの『ヴェニスの商人』におけるユー

モアと人間性

——その場面から見る登場人物——

*The Scarlet Letter* 研究

*Alice's Adventures in Wonderland* 研究

——Wonderland とは何か——

*THE LITTLE WOMEN* 研究

——理想と現実——

J.D. Salinger, *The Catcher in the Rye* 研究

——捕まえず手をあきらめたHolden——

冠詞の用法の研究

使役構文研究

——語彙的使役動詞の使役起動交替——

Stephen Ling: *Apt Pupil from Different Seasons*

研究

——読み手が受ける恐怖についての考察——

Theodore Dreiser, *SISTER CARRIE*

研究

——Carrieがいつの「幸福」にいつ——

Ernest Hemingway's *The Old Man and the Sea*:

Endurance Never Be Nothing

*Great Expectations* 研究

——Charles Dickensが描くPipの罪——

Jane Austen, *Pride and Prejudice* 研究

——物語に込められた作者の結婚観——

間投詞の統語研究

E.E. Cummings 研究

*The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde* へ

*Mary Reilly*の比較

——ハイドはなぜメアリーを殺さないのか——

Charles Dickens 研究

——娼婦ナンシーから読む“Oliver Twist”——

*Little Women* 研究 Joについて家族とは

岩佐奈央美

Toni Morrison, *The Bluest Eye* 研究 菊池 景子

——Pecolaの美の基準はどのようにして生まれたのか——

ルイスキャロルと三つのアリス物語から見る彼の

少女観

E.M. Forster, *A Room with a View* 研究 木谷 優見

——ルーシーの精神的成長——

類型論による日英語比較研究

——衛生フレーム言語と動詞フレーム言語の視点から——

動詞に付与される意味役割と名詞化

——日・英・朝比較——

『若い芸術家の肖像』研究

——宗教からの離脱、そして芸術——

Francis Scott Key Fitzgerald, *The Great Gatsby*

研究

——「Great」に込められた意味——

E.M. forster's *A Passage to India*: “The Search of

the Human Race for a More Lasting Home”

A Farewell to Arms 研究

——背景に込められた象徴性——

Langston Hughesが描いた黒人像

『クリスマス・キャロル』におけるキリスト教的発

言と物語のその後

*Little Women* 研究

——伝統的価値観の踏襲と脱却の狭間で——

“Little Women”における女性像とジェンダー

兼田由香里

今村 聡美

- E.F. Cummings 研究 地頭所 里  
—— 描かれた自然の世界 ——
- The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde* 研究 鈴木 祐実  
*Mary Reilly* の比較研究
- The Portrait of a Lady* 研究 千條 加恵  
—— Isabel のローマ帰還における考察 ——
- Kazuo Ishiguro's *The Remains of the Day*  
Profession as Persona--Self-Restraint and Growth 銭田 優香  
*Oliver Twist* 研究 谷口 香奈枝  
—— Charles Dickens が描くイギリス社会の腐敗 ——
- Gone with the Wind* 研究 田淵 夏実  
—— *Scarlett* のキャラクター ——
- Raymond Carver 作品研究 田淵 遼  
*Old Possum's Book of Practical Cats* 研究 かみ ひとみ  
—— ミュージカル *Cats* への翻案の過程で見えてくるもの ——
- Tender Is the Night* 研究 中尾 綾  
—— 題名の由縁は何か ——
- Daniel Keyes, *Flowers for Algernon*:  
An Examination of Intertextual Allusions,  
I.Q., and Characterization 中村 慎太郎  
Thomas Hardy の *Tess of the D'Urbervilles* 研究 中村 望  
*Jude the Obscure* における "Immanent Will" 研究 中村 美月  
—— 主人公を通して見る作品の喜劇性 ——
- Light in August* 研究 浪方 美佐  
—— フォークナーの人間観について ——
- Edgar Allan Poe 研究 野田 知世  
—— 「強迫観念」から見る Poe の女性像 ——
- Toni Morrison, *The Bluest Eye* 研究 橋本 直樹  
—— 各登場人物に見る差別社会の現状と希望 ——
- Carl Sandburg 研究 羽田野 幸子  
Yann Martel's *Life of Pi* 研究 浜浦 崇  
『不思議の国のアリス』『鏡の国のアリス』研究 濱田 聖乃  
*Northanger Abbey* 研究 平尾 優季  
—— ロック小説を読むヒロイン ——
- Daisy Miller* 研究 廣田 真由子  
—— Daisy Miller の人物像について ——
- The Heart of the Matter* 研究 福所 麻美  
—— 憐憫と神への愛について ——
- The Old Man and the Sea* 研究 藤井 賢児  
Santiago の人物像 藤本 恵里  
*Robinson Crusoe* 研究 藤本 恵里  
—— 宗教的側面からの考察 ——
- Oscar Wilde の *The Picture of Dorian Gray* に描かれた  
エドワード・グレイの人物像 藤原 忍  
*Little Women* の *The Little Women* 研究 松崎 匠子  
—— 「現実性」と「理想像」について ——
- イギリスにおける方言と階級社会の関係 松浪由香里  
*Anne of Green Gables* 研究 南 ゆかり  
—— そこに読み取れる教え ——
- The Little Women* 研究 峯野かほり  
Walt Whitman 研究 矢壁 康洋  
—— *Leaves of Grass* にみるホイットマンの描いた人間 ——
- A Study of William Blake's *The Book of The I*:  
Ambiguous Symbolization 八木 尋己  
William Faulkner 研究 "A Rose for Emily" 矢野 依里  
*Alice's Adventures in Wonderland*: Messages  
from Lewis Carroll 山口 剛  
会話の含意の日英語比較 山重 沙織  
—— 文化との関係 ——
- 複合語と派生語 横山 文香  
Wh 移動が起こる理由 吉田 寛  
グレアム・グリーン研究(小説と映像) 吉村麻理子  
Dennis Bock's *The Ash Garden* 脇坂 朋樹  
*The Wavering of Life-long Conviction*  
*The Picture of Dorian Gray* にあらわれる世紀末的  
要素 和才 千尋  
Louisa May Alcott, *Little Women* 研究 陳 笑 筠  
—— この家庭教育を中心として ——
- Lucy Mande Montgomery's *Anne of Green  
Gables: The Influence Anne Shirley has on  
Marilla Cuthbert* 三村 亜矢子  
オスカー・ワイルド『真面目が肝心』における  
「真面目」の意味 松岡 有香  
*Little Women, Good Wives* 研究 Jo の抵抗 原田 恵理  
中学校・高等学校における英語教育 北村 香織

- J.R.R. Tolkien's *The Lord of the Rings*:  
 The Right Heroes in the Right Place 鈴木 朋美  
 コミュニケーション 松村 茜  
 ——M.A.K. Halliday の体系機能文法を中心に——  
 ロスペルの父と呼ばれる人物、Thomas A. Dorsey の生涯 道上 綾子  
 ——ブルースからロスペルへの移行を中心に——  
 間投詞としての Christ への Swear words 山崎由貴子  
 動詞句削除現象 今村 瑠衣  
 未来を表す表現 佐藤えり子  
*Songs of Innocence and of Experience* 研究 佐藤 加奈  
 ——Blake が描く子供——  
 “Preludes” 研究 出口麻友美  
 ——T.S.Eliot はどんな都会を描いたか——  
 Richard Wright の Native Son 研究 仲川沙耶佳  
 ——ビガラの気持ちの変化について——  
 現在時制 美濃部未来  
*Lord of the Flies* 研究 久田 優子  
 ——人間の心の闇がもたらすものについて——  
 オズの魔法使い研究 本山 弘幸  
 発話の間接的伝達に関する研究 相沢 雅幸  
 Wallace Stevens, “The Show Man”, “Six Significant Landscapes” and “the Emperor of Ice-Cream”: Zen World 牛江 麻貴  
 “A Streetcar Named Desire” 主人公 Blanche の作者 Tennessee Williams 平上 元子  
 ヒロシマの惨劇を伝えた文学 藤川淳之介  
 ——John Hersey の *Hiroshima* からみる——
- The Scarlet Letter* の自然を用いた描写について 八尾 信良  
 A Study of Sylvia Plath's *The Bell Jar*: Esther's Life inside the Bell Jar. 山路 甲子  
*Lady Chatterley's Lover* から見るロレンスのヴィジョン 清水香奈子  
 L. Frank Baum's Theosophical and Matriarchal thought in *The Wizard of Oz*: The Land of Human Equality. 矢野 敬子
- 史学科 日本史学専攻  
 近世中・後期における土佐藩の庄屋 中本 圭一  
 ——在地社会の変動による庄屋の「衰微」について——  
 幕末における九州北部諸藩の動向 松下 綱樹  
 ——福岡・平戸・大村の三藩を中心に——  
 江戸時代における飲酒と規制について 青井 悠子  
 世界遺産条約批准と屋久島登録に関する考察 青木 善照  
 アイス文化と和人の接触 東 航平  
 ——イオマンテを通して——  
 中世における「綱所」の展開 阿部 慎  
 ——寺官兼任威徳の活動に注目して——  
 平安時代前期における土器の需給関係について 天野 雄矢  
 ——初期貿易陶磁器の個体数計測から——  
 武士社会における衆道 有馬 弘訓  
 ——追腹をめぐる事例を中心として——  
 大日本武徳会と大浦兼武 飯塚 脩
- 鬼ノ城——在地における意義—— 池上 緑  
 新たな春日局像 市川 妙子  
 ——諸資料からみる春日局像の変遷——  
 公認競馬の復興 井上 貴夫  
 ——闇競馬とアメリカ進駐軍が与えた影響について——  
 「実業補習学校公民科教授要綱」について 大岩 悠子  
 ——題目「社会改善」の検討を中心に——  
 サッカーの社会的需要 大川 泰伸  
 ——地域別に見た普及の違い——  
 遺跡の保存と活用について 表原 克代  
 ——史跡整備のあり方と現状・課題——  
 疫病と御霊会 鍵山美帆子  
 ——貞観五年御霊会の意義——  
 戦後転換期におけるマルクス主義 影浦 順子  
 ——上田・小野論争の再検討——  
 醍醐寺三宝院領の研究 鍛冶 利雄  
 ——正長二年安堵目録をめぐって——  
 古代日本の霊魂観と怨霊 金子 昌史  
 西郷隆盛への認識と影響 上村 円佳  
 ——官と民における記述の差異——  
 森田節斎の再検討 岸本 英子  
 古代中世移行期における東大寺領荘園の動向 北川 貴章  
 ——学生供料を手がかりに——  
 植民地朝鮮の国語政策 喜多幅有理  
 ——第一次世界大戦前後に於ける提言について——  
 戦国細川高国の動向について 久保 剛  
 近世期における信仰の諸相 古賀康太郎  
 ——往生伝の分析を中心として——

- 明治・大正の大阪映画を考える 小西 秀典  
 ——新聞広告・連鎖劇を中心に——
- 三井の中上川彦次郎 齋藤 理  
 ——中上川彦次郎と益田孝と三井同族それぞれの思惑——
- 沖繩史におけるユタ 齊藤 磨理  
 ——大正期・1990年代のユタ弾圧を中心に考察——
- 近世被差別民の生業 櫻本 泰司  
 ——大坂の被差別民の生活——
- 勅撰三漢詩集成立の背景 佐藤 一樹  
 在日朝鮮人運動の路線転換と「吹田事件」
- 良源と応和の宗論について 佐藤 拓哉  
 洪谷 真実  
 城江 麻美
- 錢鑄型に関する考察 関 誠  
 「賤称廃止令」の歴史的意義 高木 春菜  
 大化後の宗教政策 高木 春菜  
 ——天武・持統朝を中心として——
- 職の体系と職人論——鑄物師の職—— 高田小百合  
 不良少年と流行 高田 雅士  
 坂東武士団と京都 田川 貢佑  
 ——狩野・工藤氏、北条氏を中心に——
- 近世飯塚宿の成立と発展 武田 綾  
 中世日本における鬼認識と他者観 田邊 彩華  
 ——酒吞童子説話を手がかりに——
- 中世の当道座における盲人の実態と健常者の台頭  
 谷口 貴史  
 日常における菓子之意義 土本 喜子  
 ——クリスマス・ケーキと関連させて——
- 古都再生の群像 東海 貴真  
 ——昭和初期京都における小売商業振興策——
- 東福寺の寺院組織について 中井 芳美  
 古代末〜中世の土師器皿 中北 裕子  
 ——京都・斎宮における一括廃棄土器について——
- 戦後京都における震災対策と防災意識 中谷 真奈  
 上野戦争の意味 永井 祐介  
 田舎出身の出版人・坂本嘉治馬 長尾 麻衣  
 ——「日本家庭百科事彙」を軸として——
- 占領期日本における社会教育からの民主化について 西口実絵子  
 西田 智洋
- 明治初期の不平等華族について 西田 智洋  
 ——愛宕事件と外山事件——
- 都市鎌倉の道路構造 西脇 真悟  
 水野 龍 狭間 一恵
- 滋賀県大津市における公営競技の変遷に関する考察 浜付 丈夫  
 ——競輪・競艇事業の歴史と課題——
- 二条城二の丸御殿唐門の彫刻について 林 由華  
 ——龍・虎彫刻を中心に——
- 大正時代における婦人参政権の意識 平野佐代子  
 ——治安警察法第五条の改正をもとに——
- 戦前〜戦後期にみる高校野球の連続性と不連続性 平山 将希  
 戦国期在地社会構造と領主権力 廣原 和紀  
 ——甲賀郡中惣とその機能——
- 江戸の盛り場と開帳 藤井 藍子  
 1950年代戦争映画の変容 藤井洋一郎  
 広隆寺の薬師信仰 藤森 恵美
- 平城宮の特殊性 堀川 明子  
 1930年代の漫才 松浦 優  
 ——大衆娯楽雑誌「ヨシモト」を用いて——
- 「観光都市京都」の出発と現在 松浦 玲佳  
 天皇の生母の出自の変化についての一考察 松下 智尋  
 中世における神功皇后信仰について 松田 侑子  
 ——九州・聖母信仰と山城・八幡信仰との比較から——
- 友禪の近代化をめぐる歴史的諸考察 眞鍋 沙智  
 ——明治期を中心に——
- 近世の熊野信仰 深山絵梨奈  
 ——房総地方を中心に——
- 日本人になるころに 向坂 達矢  
 ——竹内文書に見る日本人のカタチ——
- 時房流北条氏の展開 宗山遼太郎  
 ——大仏氏の動向を中心に——
- 弥生時代後期初頭における土器の様相 谷上真由美  
 ——畿内地域を中心に——
- 古代の炊飯 山岸枝里子  
 ——土器の成形から炊飯までの過程——
- 女性埋葬墳の性格 山下 有子  
 皇極天皇の讓位についての一考察 山戸 沙織  
 映画から探るヤクザのまなざし 山本 雄大  
 戦国期・肥前国における龍造寺氏の大名領国形成 吉岡 誠也  
 過程について 吉岡 誠也  
 祇園会見物にみる社会構造 吉國 涼子  
 中世奈良の興福寺 吉田 充秀  
 ——大和支配における興福寺と筒井氏の関係——

古代日本における「くるふ」—— 吉田 幸代  
 中世の女性と戦争—— 女騎の場合—— 是永 祐介  
 近世京都近郊農村に関する一考察 吉田 裕佑  
 中世における鋸の技術発達とその影響 梅澤 貴広  
 江戸・名所考 渡邊 祐子  
 河内内鑄物師を中心に—— 角 文江  
 近世都市に生きた人々の自然観—— 権 ハリ  
 沖繩バナマ製造業—— 戦後を中心に—— 角 文江  
 『日本書紀』の作成意図への考察 権 ハリ  
 廃藩置県と諸藩の動き 金場 卓也  
 実際の執筆陣としての渡来系宮人の存在—— 最後の奉還に向けて—— 会の狭間で——

鳴滝乾山焼の諸相（窯道具を中心に） 高橋 克則  
 三大アニメブームに見る日本アニメの興隆  
 山背の古瓦 武田 悠  
 また、如何にして日本のアニメは産業になったか——  
 幕末長州藩におけるピースフイラー 江浦 宏樹  
 日清・日露戦争期の新聞記事構成 古屋 恒平  
 燃える都と燃えない民衆 岡 彩子  
 東京日日新聞を使って——

吉田松陰とその門下生の関係について 久後優香里  
 幕末維新期における京都町衆の防災意識—— 阪田 真美  
 道教の神々と祠廟  
 本居宣長と「天文」 赤堀 貴之  
 將軍後見職時代を中心に—— 后稷説話の編年から見る先秦史 小境 遼太  
 中国古代における肉に従う文字の定着について 阪本 泉  
 岩倉具視と薩摩藩 小森 寛子  
 デットマール・クラマーの戦術論 藤田 祥人  
 中国の遊女とお水の花道 小柳 藍子  
 元朝における色目人と身分制度 相良晋太郎  
 上海租界 追田 侑希  
 租界が与えた影響と今後——

近代人の飲酒文化と禁酒運動の歴史的考察 小森 寛子  
 史学科 東洋史学専攻  
 毛沢東とプロバガンダ 田中 真紀  
 唐朝における外国人文官 清水 亜弥  
 阿倍仲麻呂の再評価——

法制史を中心に—— 徳武 慶子  
 豊郷村長 伊藤忠兵衛 高橋 真弓  
 左伝論評考—— 小倉説の再検討—— 朝比奈孝行  
 伏見人形と民間信仰 池田 明美  
 香港返還についての一考察 安部 裕太  
 古代中国における色彩観 菅野 和  
 『日本外史』の歴史意識 加藤 慶宣  
 日台関係における一考察 今井 康平  
 五行思想との関わりから——

歴史意識から真理の実態を考察する—— 林彪事件について 大迫 慎也  
 満州貴族の国家観・民族観 関司 康宏  
 清滅亡から満州事変まで——

中世日本における鋸の技術発達とその影響 梅澤 貴広  
 古代中国の樹木信仰についての一考察 大室由香利  
 王兵小考 立石 尚樹  
 『管子』七法・兵法・參患・地圖との関係を中心に——

小室信介 大月 英雄  
 明代の船について 奥野 直樹  
 王安石政権の構造と崩壊の理由について 辻 恭子  
 南部の馬産を中心に——

龍江船廠志をもとに検証——

開説の変について

中村 翔大

墓誌銘より見たる宋代女性像について

清水嘉江子

——周順昌の著作を中心に——

——位階・卒年齢・家族をてがかりに——

内垣 裕介

一九一九年五月四日に何があつたのか？

中本 壮輔

葭森健介氏の「魏晋革命前夜の政界——曹爽政権と州大中正設置問題——」についての考察

曹爽政権

毛沢東の人間形成

西岡 克真

ドイツにおける子ども魔女迫害

馬野 飛鳥

六朝期の家諱

西村 庸平

近現代朝鮮の言語政策

大北 奈央

チベットにおける葬送習俗

福嶋 晃

第二次世界大戦後韓国（南朝鮮）を中心に

澤井孝太郎

西安事件と張学良

福永 真之

五胡十六国時代における天王の称号

仲川 雅博

敦煌莫高窟と東西交易

三浦 充喜

李鴻章の北洋海軍——権勢の拡大と北洋海軍の成立過程——

甲斐 博

魯迅の文学観

三木原功也

日本人の中国観

中森 大将

——『呐喊』発表に到る彼の精神——

峯岡 真史

前漢・武帝期の祭祀について

八木 瑞希

——『袁氏世範』を中心に——

村川堅太郎

シルクロードとソグド商人との関連

山本 智裕

太武帝と崔浩誅殺事件

村中英一郎

——隊商の民の素顔と実態——

西尾亜希子

古代・中世における内陸アジア諸族のシヤマニズムについて

役重 文範

唐蕃会盟碑について

菅本 周平

漢代の皇帝観

——祥瑞思想を中心として——

史学科 西洋史学専攻

20世紀のモードと女性

清水 秀司

——祥瑞思想を中心として——

矢島 直之

サッカーによるアイデンティティの形成

永井 則天

前漢における皇后に関する一考察

四辻 暁音

EUの域外移民、ドイツ、フランスを例として

藤山 秀嗣

明末日本に輸出された青花について

若官 千裕

ローマ領ブリタニアにおけるローマ化

市原 涉

宋太祖趙匡胤の遺訓についてと、その評価及び趙

荒尾精の中国認識

女王ボウディッカの反乱を中心に

「食」アイデンティティを探る

田村 梓

南宋・長沙における真徳秀の社倉について

山口 泰昌

古代ローマにおけるバイディアの撰取とヒューマニズム——弁論術の教育から見る——

井上 麻子

——第二次世界大戦後韓国（南朝鮮）を中心に——

八木 円香

アイデンティティ危機への歴史的経緯

大北 奈央

——身体の記号化と人の集団化——

『パウハウス様式』に対する考察

アルビジオワ十字軍から見るフランス王権の伸張

木村 真之

アウグストの社会政策とサーカス

塩見 和子

国際化と社会科学教育

異文化理解再考——

島袋さやか

イギリス絶対主義と海賊

清水 秀司

私掠行為から見る海賊と権威の結びつき

染谷真理子

「自由」な服装と女性の解放

立川 正和

キリスト教大迫害の起因をめぐって

イアヌスの帝国統治政策——

三十年戦争期ランツクネヒトの生活

巽 隆恭

「食」アイデンティティを探る

田村 梓

アメリカ「食」文化形成過程において

田村 梓

児童労働根絶にむけて

途上国における取り組みとその現状

19世紀パリ万国博覧会

近代化する都市の舞台装置

辻 康宏

- サパティスタ国民解放軍 中村 彩乃
- 1994～2006…メキシコ政府と先住民組織 松室 光
- メディアの転機 中村由実子
- 聴覚メディアがもたらした国際化と国民化—— 森 早百合
- 公民権運動とその後のアメリカ黒人 鍋山 隆
- 隔離から統合、そして共存へ向けて 10—12世紀のヨーロッパにおける紛争と紛争解決
- 霊的武器としてのクリユニー儀礼—— 森本 亮介
- 古代ギリシャ市民社会における女性のイメージに ウィットテ伯爵のシベリア鉄道構想 印藤 芳久
- ついて——悲劇の分析を通して—— 西馬 多恵
- 子どもと児童文学の関係性 И о ё ц н а В о с т о к 小栗 康佑
- グリム童話からデイズニーまで—— 中世末期ヨーロッパ宮廷服飾における色彩の転換 梶田 康子
- 結婚社会からの脱出 平田みどり
- 同性婚の承認を通して—— アメリカ黒人の抵抗と理想 石原 広嗣
- 国際化の中の日本農業 尾藤 昌明
- 公民権運動期から現在まで ポーランドのシユラフタと民主主義 船越恵里加
- アメリカにおける移民とアメリカ化… アテナイのデロス同盟支配 野口 貴博
- 1880—1920 福成三恵子
- 帝国化の時期と支配のあり方について—— 現代スペインにおける国家と地域 長澤 想宇
- 6—7世紀におけるビザンツ帝国の都市と農村の 堀口 敏伯
- 変容について バスナシヨナリズムからみる新しい国民国家の可能性 トーマス・ミュンツァーの選民観と神秘的救済 牛島 正春
- 中世ドイツ政治史における諸侯の権力拡大 濟論 東 一樹
- ザクセン朝の成立からヴェルムス帝国議会まで——
- 18—19世紀のフランス食文化 スパルタクス戦争 東 一樹
- 食卓の変遷と「個人」のあり方 古代ローマ共和制末期イタリア論 押谷 梨絵
- 20世紀アメリカ合衆国における大衆消費社会 ニカラガア革命前夜における少数民族 ミスキートとクレオール反革命行動 伊地知直之
- 町村 亮輔 教皇アレキサンデル3世と皇帝バルバロッサの闘争 地方鉄道事業の経営選択についての考察
- 松尾 雄樹 中世の医学と女性 古代ローマにおける公共に対する奉仕 松久 直也 堤 堅一
- 「パンとサーカス」を通して——
- 不安定地域の傭兵ビジネス 小山田 翔
- 大航海時代と現代を中心に—— ヨーロッパにおける国民国家と外国人労働者 平川 真
- 地理学科 地理学専攻 日本における航空規制緩和の地理学的考察 小栗 康佑
- 宮崎市におけるガソリンスタンドの立地展開 堀内 省吾
- 交通流動パターンからみた京阪神大都市圏の地域 機能分化 池田 憲隆
- 郊外化・多核化に注目—— 関西地区におけるマスコミ注目型犯罪の分布と考察 井崎 直人
- 大学生の個人の属性による購買地の選択の関連性 石川 雄基
- について 京都市の大学生を事例として 里山の変遷と現状 石崎 秀樹
- 兵庫県三田市を事例として—— 学生からみた京都のイメージ 石原 佳奈
- リゾート法がもたらした観光開発 滋賀県高島市マキノ町を事例として 伊地知直之
- 三重県近鉄北勢線の存廃問題の事例を通して—— 伊藤 知剛

愛知県における地震ハザードマップの特性

伊藤 春貴

介護保険制度導入後のデイサービスセンターの立

地とサービス空間の変化 乾 賢太

——京都市東山区を事例として——

京阪神大都市圏における自動車ディーラー店の立

地と展開 射場真太郎

保育所利用が働く女性に及ぼす時間制約

——山梨県南アルプス市櫛形地区を事例に——

今村真梨子

図書館と書店の競合関係に関する考察 上野 貴信

——出版不況と図書館の関係について——

屋外広告物第1種規制区域による屋外広告物の現

状と住民意識 内田 衣美

——京都市東山区と衣笠地区を比較して——

京都市の学生が持つ犯罪不安と防犯意識について

大岩 有樹 大藪 了輔

中心市街地再活性化への現状と課題

——三重県四日市市を事例として——

御土居の変遷と跡地の土地利用 大場 礼子

奈良県今井の町並み保存と町づくり 岡内 雄太

——住民側から見た今井——

Iターナー者の土地購入と定着過程 岡本 若菜

——京都市府南丹市美山町田歌集落を事例に——

日本における介護保険制度下の要介護認定者の居

住特性 小口慎太郎

産業集積から見る産業別空間分布とその構造

長田 光裕

プロスポーツクラブを活用した地域活性化

河野 主義

若者の街、吉祥寺

——大衆のイメージとその実態——

大阪市における高架下空間の利用について

黒須 正宜

——阪神高速道路と鉄道の高架下を対象として——

京都市におけるドラッグストアの立地展開

——スーパーマーケット及びコンビニエンスストアとの競合——

京都における公園緑地の展開過程と地域的差異

坂倉 彩香

京都市伏見区における中心商店街の再生

——竜馬通り商店街を事例に——

趣味の文化的変容と都市空間の構造変化

——秋葉原の事例を中心に——

外来生物が琵琶湖漁業に及ぼす影響 鈴木 一樹

——近江八幡市・沖島における漁民の意識調査——

大都市圏周辺部におけるスポーツ観光地の発展と

地域変容 瀬戸 覚旨

——茨城県神栖市波崎地区を事例として——

アルコール飲料に見る消費実態の地域的差異

——京都市中心部におけるまちなみ景観——

京都市中心部におけるまちなみ景観 田口 弥加

——居住環境に対する意識——

CVMによる高速道路の料金設定に関する考察

——瀬戸大橋を事例として——

田中 俊光

大阪府藤井寺市における中心商業地の変化

田中真理子

岐阜県郡上市高鷺町におけるスキー場の発達過程

——と地域的条件——

世界遺産登録による観光地の変容 谷川 肇

——和歌山県高野町を事例として——

観光農園及び農産物直売所における利用者の動向

——紀ノ川市・岩出市を事例として——

近世後期の京都を描いた浮世絵風景画からみる名

所景観の構成要素 十時惟友季

——『都百景』を資料として——

小児医療機関における近接性の分析 中内 良太

——京都市を事例に——

大阪府枚方市における高齢者福祉施設の立地特性

中田 杏子

岐阜市中心部における空間変容

——駐車場の立地に着目して——

大都市圏周辺部における滞在型市民農園の実態

——茨城県笠間市を事例として——

京都市の抱える都市問題 中野 裕介

——景観問題と都市計画問題——

札幌の歴史の変遷と地方霊場としての特殊性

——近世期の洛陽三十三所観音霊場を中心に——

「堀江」という若者の街の創出 西川 洋樹

——滋賀県南部地域を事例として——

コンビニエンスストアの立地展開 西嶋 康

——滋賀県南部地域を事例として——

阪神淡路大震災以降における神戸のまちづくり

——新長田再開発を事例として—— 西田 龍司

古書小売業の変容 橋本 裕美

——京都市を事例として——

農業衰退地域における農業振興事業 濱口 義雄

——愛知県美浜町を事例として——

子どもの遊び場に対する空間認知 林 健太郎

——枚方市立明倫小学校区を事例として——

中心商店街の変化と活性化について 平林 亜沙

——新潟市中心市街地を事例として——

災害頻発地域における住み分け 藤野 裕介

——岐阜県大垣市十六輪中を例に——

旅行速度による道路整備評価と交通環境について

の考察——富山県を事例として—— 二塚 大地

被災都市におけるマンション立地 前田 祥子

——神戸市東灘区を事例として——

神戸市における場所イメージの定着について

——近現代の文学作品を主な資料として—— 政安 茜

長崎県における会社企業の立地展開と企業家の参

画 大正9(1920)年を中心として—— 村上 富美

バスケットボール強豪地域における地域活性化策

とその文化的背景 森岡 浩志

——沖縄県沖縄市を事例に——

し尿処理からみた京都とその周辺 森松 真弥

——肥料から下水道へ——

JR二条駅再開発に伴う周辺地域の変貌 森本 孝幸

——京都市における書店の立地展開—— 安永 京平

地方都市における地域ブランドを用いた観光施策

に関する考察 山口あすみ

——京都市における駐車場立地の特性と変遷——

——中京区を中心に—— 山田 絢子

大都市周辺地域における都市化に伴うバス交通の

変遷 山本 幸秀

——高槻市営バスを事例として——

旧産炭地における地域開発政策について

——福岡県直方市の事例—— 品川 翔子

民間伝承の場所と楽の音(がくのね) 菅原 美幸

——新潟県関川町おりの峠の伝承を中心に——

京都におけるバックパッカーとマス・ツーリスト

の比較研究 吉岡孝二郎

——動機と行動形態を中心に——

高齢者福祉施設の立地展開と需給サービス空間の

変化 山本 雄士

——京都市北区を事例として——

国政選挙における投票の地域的動向とその諸要因

——2005年の衆議院議員選挙を中心に—— 小林 豊彦

近世所領入組地における入会山の利用形態とその

変遷——播磨国加東郡鍋子山を事例として——

都市地域における産直運動の存続性とその役割

——京都府の安全農産供給センターを事例として—— 吉岡 彌生

市丸 紘子

日本における航空規制緩和の地理学的考察

——京都市産寧坂美観地区を事例として—— 小栗 康佑

人を魅了する景観構造 内野 健太

——京都市産寧坂美観地区を事例として——

広島湾におけるカキ養殖に伴う諸問題 竹本 萌子

——ゴミ問題を中心に——

築地市場移転に伴う地域の対応 茅野 泰司

——場外市場を中心として——

地域を越えて受け継がれる文化 仲村 優生

——青森県今別町の「荒馬踊り」を事例として——

岐阜駅周辺における織機問屋街の現状と課題

鳥取県倉吉市における白壁土蔵群の地域的特性

丹羽 由貴

——関東地方の宗教空間構造—— 山本 文

——仏教寺院の分布をもとに—— 関和 和彦

1980年以降における大阪圏の都市内部人口移動

速水 淳

人文総合科学インスティテュート (学際プログラム・言語と文化)

「建築」の消化と昇華 三木 祥子

——日本における近代建築界——

「開かれた」美術教育 足立 依子

——北川民次以後の視点に立って——

日本語におけるオノマトペの役割 池田 実加

——宮沢賢治の文学作品から考える——

日本人から見た世界の日本語教育 今森 麻貴

「七度狐」から見える落語の考察 奥野 麻琴

カート・コバーンの書かれた方について 河野 朗

イタリアにおける南北問題 小谷 佳世

カリフォルニア州におけるバイリンガル教育 鈴木 哲朗

多文化社会における先住民言語の存続について 住田 知香

少数民族語をめぐる動き 高山 幸恵

——コルシカ語の事例から—— 峠口 香葉

北欧語における慣用表現の違い 峠口 香葉

——デンマーク語を中心として—— 松本 雄介

日本におけるお洒落の始まりとセンス 三塩 春菜

皮膚 魂の生成される場所 矢内原 睦

多面的な姿を持つことわざ 矢内原 睦

——イタリアのことわざを通して—— 山田 隆太

教育現場における言語作用 横井 智子

ハワイ日系人と言語 横井 智子

名詞の文法的性 大伴さやか

——フランス語を中心に—— 古田 拓郎

少数言語復興についての考察 古田 拓郎

——アイヌ語へのアプローチ—— 堀川 宜篤

「颱風」のルーツに関する考察 堀川 宜篤

国語教科書に込められたタイ国政府の意図 田中 彩

日本とアラブ世界の歴史的關係 神谷 直希

町に溶け込む道化 羽根田涼子

——ナポリのプルチネッタ——

イタリアにおける日本語教育法 水口 卓也

——1985～2006—— 琉球王国が日本の国土となる過程と理由、沖縄の

役割について 濱野 寛子

ろう文化理解を妨げるもう一つの障害 光石 恭子

——ハンディキャップを伴う名称—— 板村 貴史

人文総合科学インスティテュート (学際プログラム・芸術表象)

現代の民話から見る「異人」 赤堀 裕信

——インターネット上の噂話及びネットロアから—— 野田秀樹の演劇

野田秀樹の演劇 石光麻友子

沈黙の記譜法 青木 康祐

——無調以降の音に関するいくつかの考察——

INVENTIONS FOR ELECTRIC GUITAR 板村 貴史

——サウンドの可能性—— 植野 美緒

感性のダイアローグ 植野 美緒

——現代芸術をめぐる一つの考察—— 大久保裕美

アートとしての絵本 大久保裕美

——多様な世界とその広がり—— 柏原 里香

世阿弥に乙女心が理解できるか 柏原 里香

——バイセクシヤリテイの視点から—— 川島 美央

琳派とは何か 川島 美央

現代日本におけるシェイクスピア受容 北村 真実

——蜷川幸雄版「ハムレット」を中心に—— 黒田麻依子

物語映像の“自由”と“自粛” 黒田麻依子

——編集の意味——

仏教美術におけるヤクシー・ヤクシャの造形 栗畑 友里

東京メタボリックシテイ 齊藤 碧

——ベイエリアと超高層からみる現在—— 瀬川紗矢子

ウィリアム・モリスの壁紙 デザイン 泰地 輝実

ジェンダーを纏う身体 泰地 輝実

マリーナ・アブラモヴィッチにおけるパフォーマンス 高木 晶子

ヒエログリフとその意匠 田中佳世子

——古代文字の絵画的要素と文字的要素—— 田中 悠大

映画と表象 田中 悠大

——アラン・レネの独自のな作品をめくって—— MOA美術館本絵巻「上瑠璃(浄瑠璃)」の画中画

MOA美術館本絵巻「上瑠璃(浄瑠璃)」の画中画 谷口 友加

私という化粧 堤 愛里加

——装飾の社会性とアイデンティティー—— 西村真莉奈

パク・チャヌクの「復讐三部作」から見た復讐と 西村真莉奈

家族の關係 西村真莉奈

江戸時代における金魚の育成ブームとその行方 林 真友子

『ブローックバック・マウンテン』に描かれた愛につ 早津優貴子

いて 早津優貴子

ジュゼッペ・アルチンボルド 福岡 優子

——作品理解の乖離問題 16C/21C—— 前畑 有希

龍安寺石庭 前畑 有希

——変わるものと変わらぬもの—— 松尋あおい

ピカソ・青の時代 松尋あおい

——母子像から見る青の変化——

——母子像から見る青の変化——

——母子像から見る青の変化——

美術館という矛盾

宮下 優希

甲斐庄楠音の裸婦表現

山田 直子

——つくらない、芸術——

松崎 礼奈

——芸術作品はどこに在るべきか——

カイ・ニールセンの描いた北歐

村田 有希

人文総合科学インスティテュート

インド音楽の精神と数学性

宮本 章太

〈ことば〉の不完全性

山田 彩音

(学際プログラム・歴史人類)

近代戦争とメディア

森本恵理子

——北園克衛の純粋と破壊——

建築と皮膚

西村 一浩

ジャズの中のアフローアメリカらしさについて

祇園祭山鉦巡行を支えるもの

矢尾板靖子

——フンデルトヴァッサーの5枚の皮膚を通して——

ハート文様の起源と変遷

奥田 修子

非集住地域の在日移住労働者に関する現状と課題

磁器文化の伝播とジャポニスム

山内美智子

言葉と生

岳山 愛

——奈良県在住日系ペルー人を中心に——

——マイセンの柿右衛門様式——

和田 聡史

——演劇におけるアヴァンギャルド——

アンコールワットに込められたスーリャヴァルマン

秋山 美幸

海を渡ったブラジル移民

——奈良県と南部の比較——

有井 佑樹

2世の思い

——第一回廊レリーフから読み解く——

伊藤 絢

——臣道連盟事件にみる移民たちの日本への思い——

芸術人類学の企て

南都における宿院仏師の特殊性について

日本的なクルマのカタチ

尾崎和歌子

「現われの空間」を創出するイスラーム

アポリジニのアート

佐々木隆光

——マツダの外装をめぐって——

尾崎和歌子

カタルーニャ語

——彼らの生きる証——

松田早都子

『ぐりとぐら』の生きる場所

尾崎和歌子

——言語正常化法がもたらしたもの——

江戸の旅

河岸 佑佳

——子どものための絵本を超えて——

門 慧

いま、若者は本当に存在するのか

変化しない中国人の国民性

平井亜矢子

空虚な生

門 慧

——若者観の変遷——

——新富人の海外旅行を通じて見るその実態——

——現代における文学の有用性をめぐって——

村尾ゆり子

京料理の色彩

異人論における行商人の特性

花岡 良祐

——純粋芸術と大衆芸術の内／外——

村尾ゆり子

異人論における行商人の特性

談合問題における一考察

河島 太

ムーミン物語におけるキャラクターの変遷

渡辺 夏海

境界を越えて訪れる者たち

宝石、特に誕生石をめぐる価値の推移

ヨーロッパの外国語教育

川田 真織

イタリア・ポンペイの人々の暮らし

シンガポールのフィリピン人メイド

フランシス・ベイコンの絵画における〈枠〉の役割

越智 朝芳

ブータン王国における表象戦略

——労働力移動をする女性たち——

スキタイの動物意匠について

祖父江 希

戦後女性の政治参加について

人文総合科学インスティテュート

スキタイの動物意匠について

祖父江 希

政策・方針決定過程への女性の参画

(学際プログラム・人間と情報)

仏像の人形化

真谷恵里子

赤瀬川原平の視点

本城 優希

平均律の功罪

内野みゆき

——ピアノから調性感は失われたか——

——見捨てられ不安と自己疎外——  
女子大学生の就労意識

市川智香子

——シンデレラ・コンプレックスとの関連において——

他者のふるまいが幼児の自己調整行動に与える影響

意見の対立場面における発話の分析

大学生のストレスと自己嫌悪感との関連

——アイデンティティ確立の視点から——

虚記憶の生起について

——CL語の意図的推測に対するフィードバックの効果——

謙遜による批判の抑制効果

時間的要因が絵の符号化におよぼす影響

幼児はどんなリズムのうたを好むか

——4拍子と3拍子の違いにおける身体・感情反応の分析——

マイクログカウンセリング技法を用いた大学生の聞き手行動の改善

青年期の友人関係と携帯電話利用

友人関係認知と怒りの効果認知

——怒りの反応傾向タイプを中心に——

対人関係場面におけるストレス

——対人的志向性と性差が認知的評価及びコーピングに与える影響——

大学生における自己受容と友人関係の関連性

企業における障害者雇用と立命館大学学生ジョブコーチについての調査

——孤児院でのフィールドワークを通して——

自己概念の中心性と自己関連付け効果

日本人大学性における内集団の好意度評定による自己奉仕傾向の検討

大学生の自己イメージと流行ファッションの採用との関連性

集団活動参加のためのパフォーマンスマネジメント参加カード・シールの使用効果から

「日本人らしさの尺度」を用いた大学生の性格調査

大学生の職業決定におけるモラトリアムと自己愛の関連性

緊張弛緩状態が視覚的錯誤に及ぼす影響

教員の職場ストレス増大の要因

疎外感の強さは攻撃性の高さと同関があるか

視覚探索処理における色ベースの復帰抑制の拡散

概念的カテゴリーに方向づけられた単語記憶の構造化

——「1+1実験」による追証——

再認記憶における環境的文脈効果の検討

大学で音楽活動をしている学生の音楽的発達に関する研究

ボランティア活動のエスノグラフィ

——孤児院でのフィールドワークを通して——

自己概念の中心性と自己関連付け効果

日本人大学性における内集団の好意度評定による自己奉仕傾向の検討

大学生の自己イメージと流行ファッションの採用との関連性

集団活動参加のためのパフォーマンスマネジメント参加カード・シールの使用効果から

「日本人らしさの尺度」を用いた大学生の性格調査

大学生の職業決定におけるモラトリアムと自己愛の関連性

緊張弛緩状態が視覚的錯誤に及ぼす影響

教員の職場ストレス増大の要因

疎外感の強さは攻撃性の高さと同関があるか

視覚探索処理における色ベースの復帰抑制の拡散

柏山 結香

鍛冶 大介

梶原 三果

金光 貴子

河合 真介

川合 隆人

川北 洋子

川越 早恵

岸本 祐輔

北畠 好子

北村 優

木田 佳佑

木村 暁良

木村 芳人

人文総合科学インスティテュート  
(学際プログラム・文化と社会)

エロスは「エロティック」か

E・T・A・ホフマン『牡猫ムルの人生観』における二重性について

NIRVANA ポピュラー・ミュージック論

人文総合科学インスティテュート  
(国際プログラム)

人材への投資と企業の競争力との関係

心理学科 心理学専攻

お面の表情と身ぶりが対人印象に及ぼす影響

交流学級における発達障害児と健常児との社会的相互作用の観察

——健常児間の社会的相互作用との比較——

性度が及ぼす同性愛評価への影響と評価に伴う共感性の検討

大学生のナルシズム傾向と親の養育態度との関連について

飯嶋 洋基

新津 良亮

北畑 香織

平石 貴士

倉田 幸暢

戴 薇

新木 陵太

安藤あすか

飯嶋 洋基

垣本 貴啓

越智 美紀

小田 剛史

小田 沙絵子

岡村 文菜

大八木麻衣

見捨てられ不安と自己疎外

女子大学生の就労意識

——シンデレラ・コンプレックスとの関連において——

他者のふるまいが幼児の自己調整行動に与える影響

意見の対立場面における発話の分析

大学生のストレスと自己嫌悪感との関連

——アイデンティティ確立の視点から——

虚記憶の生起について

——CL語の意図的推測に対するフィードバックの効果——

謙遜による批判の抑制効果

時間的要因が絵の符号化におよぼす影響

幼児はどんなリズムのうたを好むか

——4拍子と3拍子の違いにおける身体・感情反応の分析——

マイクログカウンセリング技法を用いた大学生の聞き手行動の改善

青年期の友人関係と携帯電話利用

友人関係認知と怒りの効果認知

——怒りの反応傾向タイプを中心に——

対人関係場面におけるストレス

——対人的志向性と性差が認知的評価及びコーピングに与える影響——

大学生における自己受容と友人関係の関連性

企業における障害者雇用と立命館大学学生ジョブコーチについての調査

——孤児院でのフィールドワークを通して——

自己概念の中心性と自己関連付け効果

日本人大学性における内集団の好意度評定による自己奉仕傾向の検討

大学生の自己イメージと流行ファッションの採用との関連性

集団活動参加のためのパフォーマンスマネジメント参加カード・シールの使用効果から

「日本人らしさの尺度」を用いた大学生の性格調査

大学生の職業決定におけるモラトリアムと自己愛の関連性

緊張弛緩状態が視覚的錯誤に及ぼす影響

教員の職場ストレス増大の要因

疎外感の強さは攻撃性の高さと同関があるか

視覚探索処理における色ベースの復帰抑制の拡散

概念的カテゴリーに方向づけられた単語記憶の構造化

——「1+1実験」による追証——

再認記憶における環境的文脈効果の検討

大学で音楽活動をしている学生の音楽的発達に関する研究

ボランティア活動のエスノグラフィ

——孤児院でのフィールドワークを通して——

自己概念の中心性と自己関連付け効果

日本人大学性における内集団の好意度評定による自己奉仕傾向の検討

大学生の自己イメージと流行ファッションの採用との関連性

集団活動参加のためのパフォーマンスマネジメント参加カード・シールの使用効果から

「日本人らしさの尺度」を用いた大学生の性格調査

大学生の職業決定におけるモラトリアムと自己愛の関連性

緊張弛緩状態が視覚的錯誤に及ぼす影響

教員の職場ストレス増大の要因

疎外感の強さは攻撃性の高さと同関があるか

視覚探索処理における色ベースの復帰抑制の拡散

柏山 結香

鍛冶 大介

梶原 三果

金光 貴子

河合 真介

川合 隆人

川北 洋子

川越 早恵

岸本 祐輔

北畠 好子

北村 優

木田 佳佑

木村 暁良

木村 芳人

発達障害児に対する集団学習の学習面、日常行動

面への影響 久保 まや

児童の手順文理解に及ぼすイラストの効果

久保 寺佳奈

文字書体の読みやすさと好き嫌い・親しみについ

ての研究 小出 裕之

批判的思考に対する性差および共感・システム化

指数の影響 光山香葉子

好印象を与える広告とは

小坂 恭子

——ユーモアと商品アピール文の影響——

鏡映描写課題における自律的リラクゼーションの

効果の検討 小林 真綾

成人における絶対音感の習得

小林 美保

——AP習得訓練法を用いた3和音の習得——

養護学校生徒との労働場面における金銭管理

崔 希柄

大学生における友人関係が被服行動に与える影響

齋田 明子

オンラインゲーム依存とオンラインゲーム上での

自己の表出との関係 齊藤 茂行

カメラレンズの焦点距離が画像上の側方距離知覚

に及ぼす影響 齊藤 恵

行動分析学的介入によるリズム感覚の改善

坂本 麻依

剣道の技の熟達と認知的所産

佐々木理恵

ソーシャルネット・ワーキングサイトにおける自

意識と承認欲求の関係 篠原めぐみ

相対音感の強化 梶原 順孝

被援助志向性を高める要因について 鈴木 美穂

青年期における「ひとりりでいられる能力」と生活

形態及び交友関係 住友 孝至

人間の行動に影響を与える音楽 園晶 令子

——店内BGMと消費者の購買行動——

過去の出来事に対する罪悪感が大学生の心理的適

応に及ぼす影響 高井 陽一

抑うつと友人関係のあり方から——

CMCにおけるユーモア志向性の準言語的メッセ

ージ使用頻度への影響 高島 将行

行動分析学的アプローチを用いた方言の行動形成

——関西弁の習得と印象の変化—— 高橋 由宇

携帯メールコミュニケーションにおける友人との

関係維持 高松祐貴子

——絵文字・顔文字が及ぼす効果——

言語表象を用いた旋律の記憶 高谷 奈緒

子どもの自律的な情動表出制御の発達 田中 佑光

——表現の縮小化に注目して——

室内犬の無駄吠え軽減のための行動的アプローチ

田中 優美

大学生の笑いによるストレスマネジメントの効果

田邊 元

奥行き手がかりの不一致が奥行き知覚に与える影響

谷 尚史

大学生における自己主張スキルの向上 谷角志保美

——アサーショントレーニングを用いて——

幼児の対人葛藤場面における自己主張と自己抑制

の発達の研究 津島 麻紀

——非のある側の視点から——

恋愛感情の告白行動における第三者の重要性、及

び役割 遠山 桃子

局所結合モデルにおける色彩の影響 飛松 絢子

きょうだい関係と恋愛における依存傾向の関連性

——長子と末子の比較—— 富田さゆり

ニコチン(タバコ)への依存と代替性の成立との

相関についての研究 中 克之

高校吹奏楽部のエスノグラフィー 中馬 有加

——問題として構成された3つの出来事に注目した

分析——

検索エンジンによる情報探索行動の心理学的検討

中川 帝人

立命館大学体育会ボート部員における出席率向上

のための援助プログラム 中西 齊

ハーマニーによる癒し効果の研究 中村 紀恵

脳トレーニングの効果の検証 長井 一哉

——学校現場での適用の可能性について——

発達障害児に対する計算・書字・音読の反復学習

の遂行が認知機能と自尊感情に及ぼす変化 永森 智恵

バレーボールにおけるサーブ技能の向上 藁田 裕子

——行動的コーチング効果の分析——

- エンターテインメント番組における笑い生起場面のエスノグラフィー 滑田 明暢
- 学生の社会的逸脱経験とその要因分析 西尾 藍
- 性差の検討を中心に——
- 笑いとドーピング・フェイス・テクニク 西岡 奈美
- 若者のファッションに関する意思決定過程における選択肢が及ぼす満足感への効果 西田 晴菜
- 青年期の親子・友人関係における心理的距離と同一性拡散感 沼田 伊織
- テニス競技における「あがり」の意識に関する調査 橋本恵梨子
- 見えない障害における情緒的つながり 濱谷 知華
- 障害の受容過程の再考——
- 実験的冷水痛に対する耐性の変化に関わる要因の検討 早川 史子
- 図の表現方法が理解と記憶に及ぼす効果 早川 碧
- 青年期における家族関係の認知について 日高 輝
- 学生結婚という体験から見る家族の生成と自己形成 ——学生結婚者へのインタビューを通して—— 福田 絵理
- 画像記憶における境界拡張に対する知覚スキーマの影響 藤定 佑希
- 母子画の印象評価と性格傾向の関連について 藤原 澄子
- 部活動への満足感が高校生の学校生活の満足感に与える影響 堀内 誠司
- 展望的記憶におけるプランニングが存在想起に与える影響 前田 文子
- 保育園の自由遊び場面における場所・ものをめぐるいざこざの分析 前野 未来
- いざこざ以前の遊びの状況に着目して——
- 自白供述の変遷分析 益川 教智
- 2件強盗殺人事件を題材に——
- 日本の臨床心理学の萌芽としての変態心理学 外部主義的アプローチを中心として 松島 淳
- 自尊心と自己注意の向け方について 丸山 愛可
- 自己超越的パーソナリティの検討 三浦あやの
- プレッシャー状況における課題成績の比較から——
- 喚起される自己の側面から見た恐怖管理理論 水本 千尋
- 集団における被援助に関して類似性が及ぼす影響 美馬 萌子
- 青年の愛着スタイルが恋愛場面に及ぼす影響 ——恋愛スタイル・恋愛行動・関係評価に注目して—— 村岡 真美
- 携帯電話使用が若者の友人関係に及ぼす影響 銘苺 尚美
- 広告の過程による段階的効果の研究 桃井 和成
- 大学生における自己と親友の自尊感情についての比較——精神的健康との関連から—— 盛岡 亮太
- 子どもから見た養育態度が現在の「キレ衝動」に及ぼす影響 森本 晶子
- 和音感覚が音高記憶に与える影響 山縣 忠
- 社会性の高いオタクはいるのか 山口 有香
- いざこざ場面での子ども「泣き」の分析 ——泣きの原因と泣きの効果の認知—— 山崎 加奈
- 値下げによって生じる不審感の研究 山根 承子
- 青年期における自己愛と対人傾向についての調査 吉川伸一郎
- 集団成員情報の特性と幻相関 吉崎 洋
- 液晶ディスプレイが文章理解に与える影響 吉村 敦夫
- 発達障害児に対する継続的な学習が行動面にもたらす影響 吉村 裕哉
- 性別差が未知顔の再認記憶課題における意味処理 優位性効果に及ぼす影響 若柳 涼子
- 血液型ステレオタイプに関する考察 蘇 怡
- 特徴探索における背景を積極的に無視するプロセスの役割について 劉 波
- タイプA行動を示す人における時間認知の特徴 岡野 一樹
- 見本合わせ手続とレスポネントタイプ手続の比較——刺激等価性パラダイムに基づいて—— 藤井 麻由
- 青年期における自己評価と対人恐怖的心性の関連について 西浦久美子
- 高次の言語レスポネント条件づけ 中前 太一
- 評価反応の形成と拡張——

- カンバスの縦横比が風景画の広視界感および奥行  
感に及ぼす影響 木田枝里子
- 一貫性と自尊心からみる決定後の偏愛 橋本 裕子
- 青年期の睡眠習慣とスチューデントアパシーに關  
する研究 玉熊 律郎
- 女子大学生における摂食障害傾向と対人関係との  
関連 飯田 潤子
- 両親・恋人との関係を中心として——
- 青年期におけるアタッチメント表象の投影的測定  
法の研究 亀井 隆幸
- 実験的手法による妥当性の検討——
- 大学生の男女による恋愛観の違い 鳴志田ゆう
- 交際目的との関連から——
- 学生相談室への来談・非来談の葛藤 弦開 亮
- KJ法による大学生の語りの分析——
- ブログを用いた減量効果の検討 清水祐里花
- Kandinsky-Jacobsenの色と形における調和的  
関係の考察 須田 明子
- 社会的比較によって生じる嫉妬場面における帰属  
スタイルと自己受容の関連性 箭内 智美
- mini使用が人生満足感と社会的効力感に及ぼす  
影響 高橋 志英
- 親の仕事形態と子どもの寂しさに関連はあるのか  
——親と子どもの兄弟姉妹間の認識の違い—— 高橋 真梨
- 児童における囲碁経験が方眼上の認知発達に及ぼ  
す影響 辰巳 明子
- ポジティブな内容のポスター掲示による違法駐車  
の軽減に関する研究 津田 麻美
- 音読・計算・書字の反復学習の遂行が、発達障害  
児の行動面に及ぼす影響 根本 真子
- サイエンスカフェのエスノグラフィー 日高 友郎
- 科学者と市民の対話はどのように成り立っているか——
- 「いい子」は周囲の援助に不満を抱いているのか  
しつけと虐待について 村上 智美
- 中国人留学生の目的意識とその変容過程に関する  
質的研究 望月 春香
- 大学生の講義中における問題行動と規範意識  
ヒューマンサービス従事者の自己愛性とバーンア  
ウトに関する探索的研究 國府 雄三
- 産後一ヵ月以内における育児不安の分析 杉本友木子
- Q分類法を用いて——
- ヘリング錯視の斜線をまつ毛と見立てた場合の目  
の大きさ知覚に関する検討 多湖友紀子
- 対人援助者を対象とした感情労働尺度の作成  
——感情労働の組織的な理解への試み—— 田中 美幸
- 携帯メールを送受信するときの対人距離に関する  
検討 田中 幸恵
- 中年期女性のライフプロセスの変容とアイデンテ  
ィティの発達 谷村ひとみ
- 個と関係性の視点から——
- 仮説検証における確信度更新過程 田村 昌彦
- 養護学校職業学科生徒を対象とした学内クリーニ  
ング店における接客業務の向上 津堅久仁子
- メモ記入を活用した返却スキルの獲得——
- 精神障害をもつ個人における写真カードを用いた  
清掃スキルの向上 平瀬 美幸
- 化粧が対人印象に及ぼす効果についての実験的研究  
音楽による気分誘導効果の批判的検討 湊 美智子
- 産後四ヵ月までの育児における母子のインタラク  
ションの機能と役割 三宅 裕子
- 奥行きをもつ図の距離錯視の要因について 綴木 舞
- 明るさが幾何学的錯視に及ぼす影響について 赤井 裕也
- 複数モダリティからの情報入力それぞれの情報  
処理に与える影響 今井智香子
- うつには早期の不適應スキーマが関連しているか  
デジタル・デイバイド時代における流行語の実態  
——ブログでの言及数に着目して—— 北口 佑介
- 上下および左右の色の位置記憶における錯誤  
英単語のカタカナ表記とアルファベット表記のイ  
メージの違い 七井 翔
- 数の反復学習の効果 林田 碧
- 障害児通園施設の2、3歳児の介入——
- 文章の推敲過程におけるメタ認知的知識の分析  
——熟練者と初心者との比較から—— 深谷 達史

関連感情が広告情報の精緻化に及ぼす影響

松岡 毅

錯視図形の大きさと錯視量の関係について

山下 剛志

高齢者施設の介護職員の現状

松下 奈美

——心理的援助に向けて——

李 清美

二言語併用者におけるストループ効果の検討

竹田 康浩

錯視図形の見えの傾きと左右弁別について

佐藤 元

触覚による長さの弁別

高乗 祐樹

社会的出来事の時間評価に感情が及ぼす影響

青山 弥生

二歳児における言語発達についての縦断的研究

同調行動における少数者の影響とユニークネス欲

谷 薫

求との関連

——言語政策の視点から——

松田 麻美

定の効果

テーマリサーチ型ゼミナール

(LAクラス・他者問題と文化理論)

丸岡 文有

現代社会における他者関係

——ソーシャル・キャピタルの可能性を探る——

三柳 仁

「文明の衝突」論を巡って

——文化と政治の関係——

地方自治体の国際化政策とその課題

原田ゆきの

——国際交流から共生へ——

イスラムに見る環境としての文化

広浦 健太

携帯電話の発達における人間関係の変容

小島 政秀

テーマリサーチ型ゼミナール

(LDクラス・中国語文化圏が抱える

現代的・総合的問題)

中国婚姻法の離婚に関する規定について

——「子の保護」の特徴をさぐる——

桂林絵美子

中国貧困層における義務教育問題について

澤田 結花

台湾における流行音楽の特徴

台湾の神々について

中国大都市における不動産業について

シンガポール華人について

——言語政策の視点から——

安川 絵美

中国の高齢化社会について

張藝謀作品における中国映画と原作の違い

文化大革命における紅衛兵の心理

——紅衛兵になった理由を探る——

中国におけるサッカーの発展と取り組み

中国の急激なモータリゼーションによる大気汚染

問題

中国環境問題に対する取り組み

中国移民からうかがえる文化に対する意識と姿勢

赤池 麻衣

現代中国における葬儀改革についての一考察

——農村部の現状を中心に——

渡邊 琢也

中国の国際観光政策

反日問題

——日中の教科書記述を中心に——

丹羽 貴之

上海の観光インフラ整備

——日中の教科書記述を中心に——

関口 祐子

テーマリサーチ型ゼミナール

(LEクラス・性(性別)を考える…

ジェンダー理論と表象分析)

セクシャリティとマンガの関係

スポーツと男性と女性

ミス・コンテスト再考

西洋初期のアートから見るジェンダー

フリーターのジェンダー構造

犯罪の中のジェンダー

ファッションから見るジェンダー

おたくの社会的地位の変遷

日本企業社会と男女の「らしさ」について

ジェンダーとオリエンタリズムの境界線

——『M・バターフライ』について

映像表現における女性の老い

——エイジズムとセクシズムの観点から——

岡 裕美

工藤 祐輔

土橋 杏香

牛嶋 千佳

北川 脩祐

池田 紘樹

奥田 優太

大谷 洋介

坂本 義和

杉本 有紀

牧 結子

美のくさり——女性の装い——  
木村 里美  
衣服とジェンダー  
数井 麻美

——近代西洋における女性の衣服の変遷——

中世ヨーロッパにおける魔女裁判  
嶋 あかり

教育とジェンダー  
高原 麻里

学校文化におけるジェンダー構造  
千葉 展浩

境界線上の少女  
外山佳那恵

——宮崎駿作品から見る少女の姿——

学校教育と男性アイデンティティ  
西岡 隆行

歌謡曲から見るジェンダー  
吉竹 育子

——男の恋の行方——

テーマリサーチ型ゼミナール

(LFクラス・京都文化の誕生)

京都 花街 島原の伝統文化を守るために

——ことばという視点からの提案——  
川崎 愛

近世京都における「清水寺飛び落ち事件」の実態  
橋本 佳恵

を探索  
太田 紹彦

京都の「食」を考える  
坂中 裕哉

京都市内における観光産業と漬物  
岡戸 康憲

京野菜の講義を開講する  
——京野菜を通じ食について考える——

夕霧の戦略  
加藤 愛子

京都と観光  
成田恵理子

京都観光への新視点  
山森 逸美

——花で彩る京都観光——

宇治平等院周辺の景観保全  
伊藤 聡美

京都の“水”  
山田 愛美

テーマリサーチ型ゼミナール

(LGクラス・書籍とその周辺)

紙食う虫、植物の利用と工夫  
中村裕美子

日本におけるマス・メディア(新聞)について  
——マス・メディア(新聞)の誕生から、特徴と役割

まで——  
上岡 郁

紙から生まれた文化と伝統  
上野 裕美

装丁探究  
名村 幸代

ノルウェイの森  
山川 賢司

——直子から学ぶ統合失調症患者へのアプローチ——

テーマリサーチ型ゼミナール

(LHクラス・教育を見直す)

障害児教育  
西尾 寛子

——養護学校のあり方について——  
子育て支援についての考察  
芳岡 雅子

怪談話の変容から見る学校社会  
増田さゆり

小学校におけるAD/HD児童への支援について  
岡本 吉史

「従軍慰安婦」の教科書叙述はなされるべきか  
奥松 麻美

学力低下の原因は何か  
窪田 恭兵

ケータイが変える生活とコミュニケーション  
——子ども中心の視点から現在と今後について考える——

小西 勇輝

キャリア教育の効果的な導入  
岡島 水遊

——高等学校の事例分析を通して——  
教育現場における無気力  
飯森 佳一

「こころのケア」は不登校をなくせるか  
早川美菜子

——スクールカウンセラーの存在意義を考える——  
男女共学化は適切か  
井上 将人

現代の受験競争における生徒達の実態  
久保田美幸

「文系」・「理系」における男女比の差とは  
——性差とジェンダーの観点から考える——  
熊谷 まり

いじめの実態  
田村 将

音楽療法と音楽教育  
長谷川博一

こどもを支える地域での取り組み  
松島 里江

——こどものまちの現状から考える——  
学校における逸脱行動に関する考察  
山田あさ子

デイスコミュニケーションと「生きる力」  
四宮 省吾

テーマリサーチ型ゼミナール

(LJクラス・暴力とヒューマニティー)

身近に起こる暴力問題  
岡部香代子

財の再配分論をめぐる「自由」と「正義」、そして  
「幸福」  
頓宮 敦

職場における人間関係

—— パワーハラスメントについて —— 小河原 聡

オウム事件における責任の所在

子どもとトラウマ 鈴木 敏弘  
中村 文美

攻撃——自己と他者の関係性から—— 藤本 和代

現代家族のあり方——愛情と暴力—— 松岡 愛子

学校における国旗・国家——問題とこれから—— 森岡新之助

『虚航船団』の暴力論 若尾 雅之

ミシェル・フーコーが言及しなかったアメリカの 辻 道子

自由とクイア

テーマリサーチ型ゼミナール

(LKクラス・文化としての「移動」)

グローバルゼーションによる社会的変化の中での 小林 邦彦

観光 観光 観光 観光

—— 新しい観光行動とこれからの観光産業 ——

グローバルゼーションと文化変容の関係性について 佐藤慎之助

の考察

—— イギリスのポピュラー音楽を例として ——

グローバルゼーションにおける企業戦略 千代 智子

企業のCSRとグローバルゼーション 塚箭ふみ枝

—— いかにCSRを持続させるか ——

京都議定書は温暖化問題解決の糸口となりうるのか 中下 広基

「新英語」の台頭と日本における英語教育の未来に

ついての一考察 西川 美香

文化とグローバルゼーション 西廻利江子

—— グローバル化と欧米化 ——

グローバル化と移民社会 早瀬 友梨

—— カナダの日系人社会をみて ——

グローバルゼーションと教育 望月 潤

東アジア共同体の可能性 中道 祐介

—— 日中関係からの考察 ——

グローバルゼーションにおける極度の貧困の解決 桑野 洋之

グローバルゼーションによる雇用問題 池永由香理

—— 女性の労働 ——

スポーツのグローバルゼーション 北野 理恵

—— サッカーとホッケーの比較 ——

途上国とグローバル化 渡邊 ゆり

現代のナシヨナリズム 岡宮 朋彦

グローバルゼーションと雇用 木田光太郎

—— 雇用問題と労働思想からの考察 ——

日本のナシヨナリズムの変容とこれからのナシヨ 若井 侑介

ナリズム

グローバルゼーション時代における企業戦略性 井上 智史

美人像とグローバルゼーション 榎木 千晴

言語とグローバルゼーション 杉岡 友里

黒人ファッショ 小栗山奈穂美

—— 歴史と黒人女性の意識変化 ——

すもうとグローバルゼーション 中川 祥子

—— すもうが映し出す社会 ——

日本のグローバルゼーションと国際結婚 前川 直美

スローフードはなぜ広まっているのか 山本 未来

テーマリサーチ型ゼミナール

(LKクラス・世界の文化と多言

語多文化社会における共生)

日本における「三国志」の魅力 奥本 真美

日本における色彩感覚の影響と比較 栗原 枝里

フェアトレード 田村 彩

—— その必要性と日本での普及の可能性 ——

ファッションから紐とく社会 朴 哲秀

北欧ヴァイキングの築いた文化 兵頭 優紀

多文化・他民族国家カナダ 前北 奈都

—— 労働市場における人種的な地位と雇用機会 ——

フラメンコの中に見るジプシー文化、スペイン文化 藤田 成基

シーボルトの娘楠本イネ 河野 貴子

—— 鎖国日本に生まれ混血児として生きた女性 ——

多文化主義国家オーストラリアにおける教育 横山 裕一

屁と人生 今野 昌

—— 水木しげるのユートピア ——

ドイツの中のトルコ人アイデンティティ 堤 真紀

伝説のつくり方

萩原 悠

——パンク・ムーブメントを通して——

日韓の待遇表現に関する一考察

片山 智賀

——日本語と韓国語における敬語の特性を中心に——

民族意識と音楽、現実と展望

音羽佐智子

——バレンボイムとウエストロイス・ディヴァ

ン・ワークシヨップを通じて——

芸術文化とパトロネージ

森 禄介

——日米欧における歴史と現代における企業メセナー——

ボスニアに見る民族の紛争と共生

吉田 真祐

——他民族国家の中のアイデンティティ——

地域通貨

鈴木 明菜

——スローなお金—— 貨幣から考える、豊かさとは

黒人音楽とクラシック音楽の交流について

中嶋 章智

——プログレッシブロックを中心に——

愛知万博研究

梅村 晃子

F1グランプリ、開催国別特色をみる

大川 薫

日仏文化施設の歴史と展望

大城まり絵

フィリピン人海外出稼ぎ労働者と日本

里山裕美子

日本と中国における民間交流の課題と展望

室谷 友代

フラの歴史と現状

渡辺 悦子

ニュージーランドにおける先住民文化の継承

滝 志織

フランスにおける移民の子どもたち

向井 友理

オキナワンのアイデンティティ

高橋 亜希

テーマリサーチ型ゼミナール

(LOクラス・日本における中国

文化の受容・儀礼・祭事)

日本における郊祀の受容とその変化

渡邊 泰彦

日本・中国にみられる重陽節の受容と変容

濱田さやか

沖縄における魔除け文化の考察

吉元 貴子

——石敢當研究を中心に——

日本中世の葬制にみる穢れの観念についての一考察

小笠原 聡

テーマリサーチ型ゼミナール

(LOクラス・Various Ecotourism

Research Projects)

Ecotourism in Miyama

Mt. Fuji

Siretoko and the National Trust Movement:

a Case Study

The Ogasawara Islands

Hida-Takayama

Ecotourism in Yakushima 'at a crossroads'?

Ecotourism at Sacred Sites and Pilgrimage

Routes in the Kii Mountain Range

岡田 速美

岡部 剛

七種利江子

篠丸 香織

牧 あゆみ

玄馬 寛子

善林 友子

テーマリサーチ型ゼミナール

(LRクラス・先進国と発展途上

国の都市環境に関する諸問題)

地方都市の活性化に向けて

山本 努

——京都府舞鶴市の事例——

地方観光地における地域開発

小林 秀明

——萩市を例に——

民宿からみるグリーンツーリズム

谷口 太涼

——南丹市美山町を事例として——

松山市の中心市街地について

長岡 伸典

——商業地域の変容を例に——

文化を活かした創造的まちづくり

高取 麗

——京都市を中心に——

アジア・メガシティの成長と課題

竹内 愛貴

京都市の国際観光都市としての可能性

前川 恵

在日外国人児童の教育問題

近藤 杏奈

——滋賀県を事例にして——

京都市における地域介護福祉についての一考察

林 智史

——神戸市との比較研究——

日本における都市計画制度の輸入についての一考察

古市 英治

——石川栄耀の田園都市論を事例に——

テーマリサーチ型ゼミナール

(LSクラス・都市と農村の環境史)

明治時代以降における大阪市の水質変遷と都市開発

堤 大輔

昭和南海地震によって発生した地盤沈下に伴う災害と生活への影響  
川口 公子

——高知市を事例として——

GISを用いた井戸遺構からみる長岡京左京の地

下水環境とその考察  
矢野 春希

GISを用いた滋賀県守山市下之郷遺跡における

地形復原と遺跡立地  
岡田 友歩

大阪府岸和田市における街路樹景観の形成とその

特徴  
北村 保香

昭和期における阪急電鉄の住宅地開発と土地条件

——今津線・宝塚沿線を中心に——  
戸部 利彦

高度成長期以降の千葉市中心部における都市緑地

の変遷  
南 智子

近江八幡水郷・八幡堀における江戸時代以降の伝

統的環境利用とその変容  
田中友美子

明治以降の六甲山系東端部逆瀬川流域における砂

防と土地利用変化  
中川 暁美

GISを用いた埋没深度にみる縄文時代晩期から

弥生時代の河内平野における河道変遷と遺跡立地  
森田 有香

いけばなで利用される植物の遷り変わり

——江戸初期と現代の比較から——  
渡辺奈津美

テーマリサーチ型ゼミナール

(LTクラス・絵画からみる都市の

風俗)

中近世の金屏風の制作について  
谷野 晶美

——制作数と産金量の関わり——

中世社会における童  
寺田麻有子

扇で顔を隠す人々のしぐさについて  
片岡 由希

——絵画に見られる日常の動作——

絵画からみる「犬」  
小池 真世

——盲人と犬の組み合わせ——

雅楽と権力  
鈴木あゆみ

——中世の宮廷社会における雅楽の実態——

道具から知る人々の生活  
前田 祐佳

——桶・樽を中心に——

陰間  
松重 左京

——陰間の実態から男色の思想まで——

テーマリサーチ型ゼミナール

(LUクラス・情報科学技術

による言語諸学の展開)

日本人英語学習者のためのリーダビリティ公式

の構築  
富田 康文

低年次大学生の文章における稚拙さに関する計量

的研究  
田野多龍一

言語研究者のための初習プログラミング教材の開発

平木 啓太